



STAND BY!  
03



### 150VERS BOOK

マムート150周年で輩出されたアーカイブ「150年BOOK」。中には、シリアスなクライマーや登山家には垂涎ものの貴重な資料となる写真、ギアなどが綴られている。



# マムートの150年。

## モノの進化だけでなく、カルチャーの深化である。

写真/油科康司(WPP) 文/山下晃和

1862年。今からちょうど150年前。日本は江戸時代末期。坂下門外の変という事件が起きた年であった。また、明治時代にさえなっていない。そのような中、スイスでは農業用のロープメーカーとしてマムートが産声を上げた。現在、世の中に出回っているアウトドアブランドでも群を抜いて歴史があると言っても過言ではない。歴

史があるということは、何もかもが一番煎じでスタートしてきたというこの証明。Scholler社との共同開発で、世界初でフットシエルのアルパインパンツを作ったこと。世界初でGORE-TEXを使ったこと。世界初でパンツにストレッチを入れたこと等、数え上げるときりがなく、機能性だけでなくデザインも年々ブラッシュアップしているのが目に見える。前述のとおり、今年2012

年は、創立150周年。Peak s Collectionと題して、数名が並ぶとザイルの模様になるというカラフルなJKTを作った。さらに、世界中150のピークを目指すイベントを敢行。日本では4月13日(金)から15日(日)まで立山に上るツアーが開催される。(募集は終了)また、4月21日(土)が神戸、22日(日)が大坂の心斎橋でトークイベントをする予定。本誌スタイリスト近澤一雅、モデル山下晃和の2人がアウトドアにまつわるエッセイや、アウトドアファッション指南など何でもござれで発表。両日、両場所共に出演予定。

PEAKS COLLECTION  
ガッシュブルムジャケット価格8万2950円  
©マムートスポーツグループジャパン  
☎03-5366-0587

### EVENT. トークショーイベント4/21・22に開催決定!

マムート初の試みであるトークイベントを関西で開催。2012年4月21日(土)にマムート神戸店。22日(日)にマムート心斎橋店で両日とも15時から17時まで。出演者は、スタイリスト近澤一雅氏とモデル山下晃和氏のふたり。アウトドアのファッション指南や登山のレイヤリングの基本のキについてなどを語ってもらう予定。豪華なプレゼントもあるかも。関西在住の方、ふるってご参加を!



スタイリスト  
近澤一雅さん  
本誌をはじめ多数メンズ誌にアウトドアをMIXしたコーディネートが人気のスタイリスト



モデル  
山下晃和さん  
雑誌のモデルだけでなく、海外自転車旅サイクリストとしても活動する肉体系モデル。



●心斎橋店  
① 大阪府南船場4-12-17  
☎ 06-6120-8558  
🕒 11:00~20:00  
📺 水曜



●神戸店  
① 神戸市中央区三宮町3-1-9  
☎ 078-335-2147  
🕒 11:00~20:00  
📺 水曜

STAND BY!  
02



薄手のソフトシェル素材を使ったシャツとパンツ。鯉口シャツと股引きをヒントにしている。七分丈の袖とすっきりした首周りは、上着を重ね着しても窮屈にならず、またパンツのお尻はゆとりがあり、立体裁断で絞り込んだ膝周りとの相乗効果でとても動きやすい。



[シャツ]「ノラギ」価格1万9950円、[パンツ]「シノビ・シヨゲツ」価格1万5750円、[手甲、ハット]参考商品、[ストール]「クビマキ」価格4380円  
©アークサイズクイン ☎03-3258-6211

### そもそも、野良着って?

写真に写っているのは1950年代の日本の農耕作業のようす。野良着とは野良仕事にときに着る服で、野良とは野や野原。野良仕事という言葉には、農業における屋外作業という意味のほか、野外活動や野外での労働という意味も含まれる。つまり野良着とは畑仕事にときに着る服も含む、屋外で仕事をすることに着る、身体を保護するための丈夫な作業着のこと。限られた素材しかない中で、快適に仕事をするための最大限の工夫が現代のヒントになる。



写真/アフロ

はじめて見たとき、おかしな服だと思った。これが山登りのための服だろうか? というか、現代の服ではないように思われた。しかしどこか懐かしいような気持ちがあったので、日本、そうではなくてもアジア圏の服だと見当をつけた。聞けばじつは日本の昔の服の意匠や素材がヒントになっているという。最先端の素材や技術で作られた、十分に機能的で快適なウエアがあることは分かっているし、恩恵も受けている。それでも日本の自然環境の中で、もっと快適に振舞える服を作ることができないのか。言い方を換えれば最先端の機能や素材を使った、完璧なプロテクションのウエアは安心かもしれないが、同時に日本の風土における快適性を犠牲にしている部分もあるの

ではないだろうか。そして、その答えは日本古来の文化や風俗、自然環境とともに変化してきた、日本の衣服の素材や意匠にあるのかもしれない。  
そんな考えで去年の秋冬からアークサイズクインは、また違ったスタンダードを作るために新しい方向に向かって動き出した。同社は1988年に創業し、当時よりレディース仕様の製品を企画したり、パーテックスをはじめとする、いまやアウトドア界では当たり前の素材を国内で初めて採用・製品化してきた、創造性溢れる日本のブランド。先見の明がこれからもあるかどうかは分からないが、素材に対する徹底的なこだわりと、なによりこういう提案のあることを、とてもおもしろいと思う。

## いま、山で野良着 Style

写真/逢坂聡  
文/片山貴晴





アリガインターナショナル取締役の会田さんと、ブレスのジェニファーさん。もちろん二人ともにマウンテン・パーカの愛用者だ。会田さんは80年代のマウンパで登場。愛用カラーはオレンジ。ジェニファーさんは新色のワサビがお気に入り。手に持つバックはKELTYの60周年記念モデル。非売品のプレミアムものだ。



SIERRA DESIGNS

## 40th Limited Edition

2005年にリリースされたシエラ デザインズ創設40周年スペシャルモデル。世界限定4000着、シリアルナンバー入りで、ボタンもアニバーサリー仕様のプレミアムものだ。何年経ても、使用する60/40クロスは米産。



世界でたった4000着の限定生産というプレミアムなもの。会田さんのジャケットは、303番のシリアルナンバー付きだ！ファン耽溺の一篇。



ボタンには「SIERRA DESIGNS 40 YEARS」の文字が刻印されている。プレミアムだからといって、デザインを変更したりしないのもまたカッコいい。

名作として受け継がれる  
経験と知恵の産物

1960年初頭、アメリカ・カリフォルニア州パークレー。アウトドアショップに勤務しながら、バックパッキングやキャンプに明け暮れる青年2人が、ある時、嵐に巻き込まれ遭難。九死に一生を得たものの、2人はこの経験からウエアやギアが命を左右することを痛感し、命を託すことのできるアイテム作りをはじめ、ブランドを誕生させた。それが「シエラ デザインズ」だ。

自らのアウトドアでの潤沢な経験を元に作り出すアイテムは、瞬く間に評判となった。中でも、当時から変わらぬ製法とデザインで世界中のアウトドアファンから愛され続けているのが、60/40クロスのマウンテン・パーカだ。

「ゴアテックスなどのない時代に生まれた60/40クロス。防風性と通気性をバランスよく持ち合わせたこの生地は、彼ら2人の経験と当時の技術、知恵を融合させた、現代のハイテク技術を使っても作り得ない奇跡の産物と言ってもいいだろう。そして、バックパック並みの容量を持つポケット、保温力を高める袖口のベルクロ、視界を遮らないフード、腕を動かしやすいラグランスリーブ……など、後のマウンテン・パーカの礎となるディテール。その完成度の高さから、改良の余地など持ち得ず、定番として愛され続けている。

次々に発表される、ハイテク素材のウエアには機能性という面では敵わない。しかし、アウトドアスピリットがぎゅっしりと詰め込まれたこのウエアは、流行に左右されることなく、名作としてこれからも語り継がれる唯一無二のプロダクトであることは間違いない。

### Data.

SIERRA DESIGNS  
シエラ デザインズ  
アメリカ合衆国  
創設年 / 1965年  
創設者 / ジョージ・マークス、ボブ・スワンソン  
<http://www.sierradesigns.jp/>  
©アリガインターナショナル ☎03-3666-7017



# 02

RETRO  
STYLE  
CATALOGUE  
HARDSHELL

## コロムビア コンバウンダーシェル

外からの雨や雪、風を防ぎつつ、内部環境も快適に保つ。独自機能のコンビネーションプレーが光る一着だ。多雨多湿の日本の夏に八面六臂の活躍を見せる。オムニドライ&オムニウィックエバップ、495g (M) 価格3万4650円◎I



ホグロフス  
バラ ジャケット

オリジナルの防水透湿ファブリックを使用。レインウエアに必要な機能をシンプルに搭載した一着だ。薄さとコンパクト性にこだわり、バックパックの中でかさばらない。フロントファスナーはWジップ仕様。ブルー、435g (L) 価格2万9400円◎H



パタゴニア  
メンズ・スーパー・セル・ジャケット

ゴアテックスファブリック採用のジャケットで同社最軽量のハードシェル。脇の下に施したマチ付きパネルにより、腕を上げても裾がずり上がらない。フードのひさしにフォームを内蔵。ゴアテックス パックライトシェル、382g (M) 価格3万4650円◎E



モンベル  
パーサライト ジャケット

世界最軽量を実現した極薄&コンパクトなレインウエア。晴れた日のデイハイクの備えにぴったりだし、耐久性や強度もしっかり備えるので、スピードハイクやトレランにもガンガン使える。スーパーハイドロリリース、168g (M) 価格1万1800円◎N



アウトドアリサーチ ランバート ジャケット

コストパフォーマンスに優れた3シーズン対応レインウエア。ベンチレーションを兼ねた裾からのサイドジッパーが大きな特徴で、ボンチョスタイルでの使用も可能。パッカブル仕様。バリア、385g (M) 価格1万1340円◎A



ミレー  
アート ゴアテックス ジャケット

運動量の多い部分にストレッチ素材を用い、さらに人間工学に基づく快適性が追求されたコンフォート設計。顔周りをプロテクトする高い襟の口元にはバンチングが施され、呼吸を妨げない。ゴアテックス プロシェル、390g (M) 価格5万9850円◎O

[シャツ]ピークパフォーマンス[バス ショートスリーブシャツ]  
価格1万1550円◎M、他私物

## マーモット スーパー マイカ ジャケット

バックパックの中で最小限で収まることを目的とした軽量コンパクトなジャケット。2.5層のシェルには特殊プリントが施され、極薄ながら磨耗に強い。肩や腰はさらに耐摩耗性を高めている。マーモット・メンブレン ストラタ、247g (M) 価格2万9400円◎S



黒  
STYLE





# 04

## まるで行灯のような 光を作るランタンシェード

mont-bell/マイクロヘッドランプ 価格1300円  
クラッシュプルランタンシェード 価格1050円

ヘッドランプにかぶせると、まるで行灯のように温かみある光を作るランタンシェードがモンベルより登場。紙のように軽い素材のシェードは、くしゃっと丸めて持ち運べるので、荷物もかさばらず嬉しい。サイズは直径6cm×12cmとコンパクト。

©モンベル・カスタマーサービス  
☎06-6536-5740



# 05

## ファンとライトがドッキング! 置いても吊るしても使える

Coleman/CPX™6テントファンLEDライト付  
価格4410円

LEDライトつきのテントファン。直径は25cmのほどよい大きさで、柔らかい羽がそよ風のような優しい風を送ってくれる。卓上でも、天井から吊るしても使える2WAY。乾電池と充電電池とを選べる電源オプションも便利。



充電式バッテリーは別売りだ。CPX™6充電キット (5480円)。



吊り下げ用フックは背面に。本体は730gあるので、取り付けは強度のある場所に。

©コールマンジャパン  
☎0120-111-957  
http://www.coleman.co.jp

# 06

## 心がほっとする暖色系の灯り。 卓上でも、吊るしても使える

snowpeak/ソリッドステートランタン チューリップ  
価格1万4800円

シリコンシェードを使った、チューリップ型の可愛いランタン。卓上でももちろん、フックを使って吊り下げて使うことも可能。首がフレキシブルに動くのも特徴の一つ。USB入力によって、外部電源を利用することもできる。



吊り下げループがついているので、ランタンハンガーなどに吊るして使おう。

©スノーピーク  
☎0256-46-5858  
http://www.snowpeak.co.jp

# 07

## 1つのスタンドランタンが 4つのライトにもなる!

Coleman/クアッドLEDランタン  
価格8820円

1つの大きなランタンとしても、4つのライトとしても使うことができるユニークな灯り。団らん時はランタン、テント内では1人に1つのライトとして、使い方はさまざま。連続点灯時間は約75時間。分割時は約2.5時間程度。



セパレートする際は、ボタンを押すだけ。薄くて軽いので、持ち歩く際も重宝する。



かなりの明るさで、懐中電灯代わりとしては十分すぎるほど。持ちやすいハンドルつき。

©コールマンジャパン  
☎0120-111-957  
http://www.coleman.co.jp



# これさえあれば、 アウトドアはもっと楽しい! 技あり、ユニークグッズ

come on!

「使えればそれだけでいい」だなんて、もったいない!  
今までにないユニークなグッズを選んで、アウトドアをもっと楽しもうではないか。

写真/芦葉貴史 文/渡部恵

そんなワクワクがたくさん詰まったグッズの中でも、メーカーが趣向を凝らした、ユニークな商品を紹介したいと思う。定番のモノを長く作り続けるというメーカーからも、実は毎年ユニークなアイテムが発売になったり、または、あまり知られてはいないけれども、アウトドアにぴったりのアイテムとして活用できそうなものはたくさんある。使う時のちょっとした話の種にするのもよし、そして、意外な使い勝手のよさを発見してもらえたのなら嬉しい。

アウトドアの楽しみは、山を登ったり、キャンプを楽しんだりするその行為はもちろんだが、お気に入りのギアを揃えることも、その1つに挙げられるのではないだろうか。  
アウトドアショップに足を運べば、一日では見切れないほどたくさんのグッズが置かれているし、ネットでも目が回るほどの商品が販売されている。その1つひとつを見て回って、お気に入りを見つけて、新たに山道具の仲間入りをさせるのは、非常に楽しい。  
必ずしも、そうしなくてはいいくない訳ではないが、やはりアウトドア仕様としてさまざまな天候や衝撃に耐え得る、ある程度の強度や機能性を持つアイテムを持つ必要はある。山へ持ち歩くには、どういった機能が必要なのかを、調べることもひくくめ、道具選びの楽しさというものはある。そして、実際に山へ持っていき使ってみると、また選んだ時とは違う発見があったりして、また楽しみが広がるのも醍醐味だ。



## unique lantern

テント泊やキャンプに欠かせないランタン。提灯型から2WAY式まで、ランタンといってもさまざまな形がある。用途によって、選んで。

# 01

## 優しく空間を照らす カラフルなLED提灯

ALLSOP/ソージ・ソーラーランタン  
価格3360円

可愛い提灯型のLEDランタン。ソーラー式だから、電源が取れない場所でもOK。やわらかな光が、優しく空間を照らしてくれる。ナイロン製で雨に濡れ手も問題なし。ペタンコにしてコンパクトに持ち運ぶことができる。



4~7時間ほど直射日光を当てると、夜間約3~7時間ほど光り続ける。優しい光なので、テント内でも重宝しそう。

©ジースタイルコーポレーション  
☎0766-52-8528  
http://www.gsta.co.jp/index.html



# 02

## たった130gの軽さが魅力! カラビナなしでもつり下げ可能

BLACK DIAMOND/オービットランタン  
価格3150円

ホヤをたたためばわずか10cm、伸ばしてもたった14cmのコンパクトサイズランタン。さらに乾電池を入れてもわずか130gの重さは、まるで携帯電話ほど! スイッチを長押しすると、明るさを調整できるのも嬉しいポイントだ。低照度で約24時間照射可能。



右: 均一の照射範囲を作るデュアルフレクター 左: カラビナいらずのダブルフックつき。

©ロストアロー  
☎049-271-7113 http://www.lostarrow.co.jp/

# 03

## トーチとしても ランタンとしても使える!

HIMOUNT/ランタン&トーチ  
価格2205円

その名の通り、トーチとしてもランタンとしても使える便利な2WAYアイテム。76ルーメンととても明るく、コンパクトながらもパワフルに空間を照らしてくれる。伸長時でも約14cm、重さは約108gとコンパクトで持ち運びも楽。電池寿命は約168時間。



底部にはフックが。カラビナを通して、吊るして使うこともできて便利。

©ハイマウント  
☎03-3667-4545 http://highmount.co.jp/



[アウター] アークテイス「スモック」価格2万3000円◎N  
[バックパック] ミレー「LTKバック26」価格1万6275円◎G

# BACKPACK

## 03 これがないと始まらない 登山の代名詞的アイテム

RETRO  
STYLE  
CATALOGUE  
BACKPACK

登山という単語でバックパックを連想しない人はいないだろう。そのとおり、どんな種類の登山でも必要な基本、というか大前提だ。山にいる限り、ずっと背負っているものだから、選ぶときはフィット感が重要なポイントとなる。じっさいに背負ってみて背中に心地よく沿うもの。ショルダーハーネスが身体に合うもので判断しよう。最適なフィッティングのバックパックは荷重がうまく分散され、重さをほんとうに感じない。今回は容量で大型、中型、小型の3タイプに分類した。大型はテント泊の縦走向け。中型は山小屋泊まりの縦走や、テント泊でも一泊程度。小型は日帰りから山小屋一泊の登山まで対応する。

Large  
Size  
65L~75L

ホグロフス  
ゾロ60

使いやすさを追求し、必要な機能だけを集めたシンプルさが特徴。背面長は簡単・素早く調節でき、また荷重を効果的に腰へ分散。センターの大きなジッパーから内部へのアクセスが可能。60L、2250g、価格3万7800円◎L



コロンビア  
エンデュラ65

3層構造のショルダー&ウエストハーネス、脇に通気口を設けたメッシュバックパネルが、抜群の通気性で険しい登山を快適にサポート。クッション性もしっかり備え、身体にかかる負荷も軽減する。65L、1760g、価格2万3100円◎F

ドイター  
エアコンタクト55+10

最大15%発汗を抑制する独自の背面システムと、全体の荷重を腰に集約させるX型の内蔵フレームが、長期縦走時でも快適な歩行を約束。フロントパネルはU字型に大きく開く。レインカバー付き。55+10L、2600g、価格2万4780円◎M



ザ・ノース・フェイス  
テルス65

使いやすい作りでビギナーのテント泊にも最適。フロントはU字型に大きく開き、出し入れしやすい。日本人に合わせたハーネスとピポットシステムのヒップベルトが長時間の歩行をサポートする。65L、2430g、価格2万2050円◎E



バーグハウス バイオフレックス60+15

前後左右と、身体の動きに追従するウエストベルトが一体感のある背負い心地を提供。背面に内蔵されたクロスフレームは腰部で交わるデザインで、荷重を骨盤へと伝え背中に吸い付くような運動感をもたらす。60+15L、2150g、価格3万8850円◎A